

関連団体資料(団体概要と活動報告)

提出日	2026年2月5日	記入者	大谷一人			2025年度報告 (関連団体規程第4条)				
団体名称	理窓技術士会				創立	2004	年から			
代表者	大谷一人	関連団体役職	会長	mail						
	工 学部	機械工 学科	学科	学科	1975	年	3月	卒業		
事務局	小檜山智久	関連団体役職	運営委員長	mail						
	理工 学部	電気工・修士 学科	学科	学科	1984	年	3月	卒業		
会員	100 名	会員構成	理科大学同窓・技術士有資格者を主体							
理窓会費納入者	100 名	内訳 例. 役員等	企画業務統括、総務統括、財務統括、広報統括、情報統括							
執行部	名称 例. 役員会	運営委員会	11	回/年	定期総会	毎年	1	年ごと	不定期	無
	執行部構成 例. 会長、副会長等	上記記載								
会費等	3000	円/年								
会報等	2	回/年								
備考										
団体活動 報告	(基本方針) 理科大学同窓による交流を通じて、技術士の間での情報共有やそれらの活用を図る。理科大学在校生向けの技術士の国家試験受験の啓蒙とその支援を行う。本学建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を本会にても実践するように各位の活動を支援し、進めていく所存。									
	(2025年度活動状況) 技術懇話会や産業施設見学会の開催年6回程度、技術士資格者や理科大学関係の教授等の先生などから、最新の技術動向など解説頂き、会員からの質疑応答などを行っている。諏訪東京理科大学での技術士1次試験の受験指導や山口東京理科大学での技術士補者(在学・卒業者)への指導技術士の派遣など実施している。技術士としての「継続教育の場」並びに会員相互、学生他との「技術交流の場」としての「技術懇話会・見学会/懇親会」の開催(2026年1月:第121回)、在学生の「技術士取得教育」への支援(公立化した諏訪理科大、山口理科大も含む)、日本技術士会や大学技術士会連絡協議会との連携による「技術士ステータスの向上」等に向けた活動を推進しています。									
	(2026年度活動計画) 上記2025年度の活動を継続する。加えて、東京理科大学・葛飾や野田などの各学部生向けの技術士1次試験受験対応の講座の開催を企図して、各学部等の担当教授や担当部などとの協議を進めて、それを開催に向けて推進してゆく。									